

新内科学大系

神經疾患 Ia



1879-12 8 日

新内科学大系

8 A

神経疾患 Ia

東大名譽教授 吉 利
浜松医大學長 中 尾 喜
自治医大學長 山 形 敏
東北大名譽教授 三 辺 謙
前慶大教授 黒 岩 義 五 郎
九大教授 織 田 敏 次
東大教授 山 村 雄 一
阪大教授

〈監修〉



中山書店

新内科学大系

第 0 8 卷

1976 年 12 月 15 日 第 1 刷発行

検印省略

新内科学大系 (全 60 卷)
Handbook of Internal Medicine
(Shin-Naikagaku Taikei)

第 8 卷 A 《神経疾患 Ia》©

監 修

吉	利	和
中	尾	喜
山	形	敏
三	辺	謙
黒	岩	義
織	田	敏
山	村	雄

発 行

中 山 三 郎 平

発行所

株式会社

中 山 書 店

〔製作〕 株式会社 中山・新内科学大系刊行部
東京都文京区本郷 3 の 14 の 10 (泰生ビル)
TEL. 8 1 3 - 1 1 0 1 (代表) 郵便番号 113

〔販売〕 東京都文京区本郷 3 の 6 の 12 (太平ビル)
TEL. 8 1 5 - 3 5 1 1 (代表) 郵便番号 113

〔取引〕 東京都千代田区神保町 2 の 24
TEL. 263-5511 振替東京 196565 郵便番号 101

印刷／凸版印刷株式会社 製本／松岳社青木製本所

用紙／三菱製紙株式会社 表紙／ダイニック株式会社

3347-214601-5612

篠内保太郎

A 2

山形大学

東女医大教授 鎮目 和夫
山形大教授 石川 誠
東大講師 鈴木 秀郎
東大助教授 和田 攻
慶大助教授 土屋 春
愛媛大教授 国府 達郎

〈編集〉

〈監〉

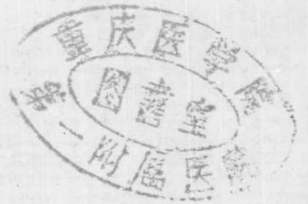
中山書局

尾 前 照 雄	九 大 教 授	阿 部 裕	阪 大 教 授	高 安 正 夫	国 立 京 都 病 院 長	脇 坂 行 一	滋 賀 医 大 學 長	京 大 名 譽 教 授	山 田 弘 三	中 部 勞 災 病 院 長	名 大 名 譽 教 授	真 下 啓 明	東 大 教 授	堀 内 淑 彦	東 大 教 授	豐 倉 康 夫	東 大 教 授	小 坂 樹 德	東 大 教 授	村 尾 覺 任	東 大 教 授	滝 島 隆 雄	東 北 大 教 授	中 村 忠 誠	山 形 大 教 授	白 石 忠 誠	北 大 教 授	村 尾 誠	北 大 教 授
------------------	------------------	-------------	------------------	------------------	---------------------------------	------------------	----------------------------	----------------------------	------------------	---------------------------------	----------------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------------	------------------	-----------------------	------------------	------------------	-------------	------------------

〈監修協力〉

德臣晴比古	熊大教授	高岡善人	長大教授	小坂淳夫	岡大学長	木下康民	新大教授	武内重五郎	東医歯大教授	増田正典	京府医大教授	日比野進	名大名譽教授 国立名古屋病院院長	上田泰	慈大教授	和田武雄	札医大教授
-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	--------	------	--------	------	---------------------	-----	------	------	-------

〈顧問〉



A 卷 8 種

外科患疾

勝木司馬之助	九大名誉教授 宮崎医大学長	吉田常雄	国立大阪病院長	阪大名譽教授	三宅儀	国立京都病院名誉院長	京大名譽教授	青山進午	名城病院長	田坂定孝	關東省立病院名誉院長	冲中重雄	東大名譽教授	学士院會員	黑川利雄	東北大名譽教授	学士院會員
--------	------------------	------	---------	--------	-----	------------	--------	------	-------	------	------------	------	--------	-------	------	---------	-------

<名誉顧問>

著 者

志 一 郎	昭和司大醫主執	南 手 嘉	昭和司大醫主執
長 賀 計	昭和司大醫主執	大 家 伸 昌	昭和司大醫主執
源 本 升 喜 彌 正	昭和司大醫主執	源 本 伸 昌	昭和司大醫主執
源 本 伸 昌	昭和司大醫主執	源 本 伸 昌	昭和司大醫主執
源 本 伸 昌	昭和司大醫主執	源 本 伸 昌	昭和司大醫主執
源 本 伸 昌	昭和司大醫主執	源 本 伸 昌	昭和司大醫主執
源 本 伸 昌	昭和司大醫主執	源 本 伸 昌	昭和司大醫主執
源 本 伸 昌	昭和司大醫主執	源 本 伸 昌	昭和司大醫主執

(昭和四年)

編輯の巻本

主 編 菊 野 貞 夫

第8巻A

神経疾患 Ia

著者

東医書大教授	萬年甫	埼玉医大助教授	原一之
東京都神経科学 総合研部長	島村宗夫	前阪大教授	佐野勇
阪大講師	西村健	新大講師	近藤喜代太郎
九大教授	黒岩義五郎	信大教授	塚越廣
慶大教授	後藤文男	筑波大教授	中西孝雄
愛知県厚生連 更生病院医長	加藤洋	九大助教授	後藤幾生
大牟田労災病院 部長	志田堅四郎		(執筆順)

本巻の協編

九大助教授 後藤幾生



目 次

I. 神経病学の基礎（神経系の特殊性）

A. 構造の立場から.....萬年 甫, 原 一之... 3

1. 神経系の構成要素..... 3

神経細胞..... 3

2. 中枢神経系の構造の概容.....18

a. 脊髓と脊髄神経.....18

b. 脳幹と脳神経.....20

c. 脳幹網様体.....23

d. 小 脳.....28

e. 中 脳.....32

f. 間 脳.....33

g. 終 脳.....36

h. 自律神経系.....38

3. 中枢神経系の血管系.....42

脳血液関門.....48

B. 生理学の立場から.....島村宗夫...55

1. ニューロン.....55

2. シナプス.....55

a. シナプス伝達.....55

b. 化学的伝達.....56

c. 電氣的伝達によるシナプス.....57

3. 反 射.....57

a. 反射の一般性質.....57

b. 反射の抑制と促進.....58

c. 興奮性シナプス電位.....59

d. シナプス後抑制.....60

e. シナプス前抑制.....63

2 目 次

f. 反回性抑制	66
g. 直接抑制	68
h. 自己抑制	68
i. 脱抑制と脱促進	68
j. 側方抑制	70
4. 中枢神経系における分化と統合	71
5. 代 償	73
C. 生化学の立場から	佐野 勇, 西村 健 75
1. 無機物質	75
a. 電解質の分布と代謝	76
b. 金 属	76
2. 呼 吸	77
a. in vivo の呼吸	77
b. in vitro の呼吸	78
3. 炭水化物	78
a. 脳の糖質利用	78
b. 脳の糖代謝	79
c. 脳の解糖酵素系の調節	80
4. 脂 質	81
a. 脳の脂質組成	81
b. 局在, 分布	81
c. 年齢変化, その他	84
5. 蛋 白 質	85
a. S-100 蛋白	86
b. 線維性蛋白	86
c. astroporotein	87
d. 起脳炎性蛋白	87
6. 興奮と抑制	88
a. 神経の興奮と電解質	88
b. シナプスにおける興奮性伝達と抑制性伝達	89
7. 芳香族アミン(カテコラミンとセロトニン)	90

脳の芳香族アミンの組織化学的開発	93
8. カテコラミン	94
D. 神経遺伝学の立場から	近藤喜代太郎 100
1. 神経学の基礎としての遺伝学	100
a. 遺伝形質と環境的形質	100
b. 神経疾患における遺伝の関与	100
2. 主遺伝子に支配される疾患(単因子遺伝性疾患)	101
a. 1 遺伝子 1 酵素説と代謝阻害モデル	101
b. 単因子遺伝性疾患の臨床	102
c. 家系資料の分析	104
d. 集団レベルでの問題	109
3. 多因子性罹病性による疾患	111
a. 量的形質と遺伝率	112
b. 量的形質の病的な偏り	112
c. 多因子性罹病性と閾値	113
d. Parkinson 病の遺伝機構	114
4. 外因に対する遺伝的感受性	114
a. 主遺伝子に支配される感受性	115
b. 多因子性に支配される感受性	115
5. 遺伝性疾患の予防と治療	115
E. 神経疫学の立場から	黒岩義五郎 119
1. 疫学の種類	119
2. 神経疫学の問題	120
3. 研究方法と頻度	121
a. 症例研究	121
b. 病院統計	121
c. 死亡統計(死因統計)	121
d. 人口調査	122
4. 疫学と遺伝学との関係	123
地理病理学	123
5. 神経疾患の疫学の現況	124

4 目 次

a. 死亡統計	124
b. 病院統計	124
6. 年齢選択性	126
7. 人口調査, 地域調査	127
8. 神経疾患の頻度概観	129
II. 神経学的検査 (理学的診断法)	
A. 神経疾患患者の診察法	133
1. 病歴のとり方	133
a. 患者の性, 年齢, 住所, 職業, 利き手	133
b. 現病歴	134
c. 既往歴	135
d. 家族歴	136
2. 神経疾患患者の診察法	136
a. 患者の観察	136
b. 神経学的診察にさいしての注意事項	137
c. 神経疾患患者の診察法	138
B. 意識および精神状態	140
1. 精神障害	140
a. 知能	140
b. 思考内容	142
c. 情動反応	142
2. 意識障害	143
a. 意識の定義	143
b. 意識障害の機序	144
c. 意識および意識障害の分類	144
d. 意識障害の病因	148
C. 脳神経	154
1. 第I脳神経 (嗅神経)	154
2. 第II脳神経 (視神経)	156
a. 視力	158

b. 視野	160
c. 眼底検査	163
d. 視神経萎縮	164
3. 第 III, IV, VI 脳神経 (動眼・滑車・外転神経)	164
a. 第 III 脳神経 (動眼神経)	164
b. 第 IV 脳神経 (滑車神経)	166
c. 第 VI 脳神経 (外転神経)	166
d. 核上性結合	168
e. 共同運動障害	168
f. 眼球運動	169
g. 眼球運動障害	169
h. 輻輳麻痺	170
i. 眼の神経学的診察	170
4. 第 V 脳神経 (三叉神経)	174
5. 第 VII 脳神経 (顔面神経)	178
6. 第 VIII 脳神経 (内耳神経)	183
a. 蝸牛神経	184
b. 前庭神経	185
7. 第 IX 脳神経 (舌咽神経)	186
8. 第 X 脳神経 (迷走神経)	188
9. 第 XI 脳神経 (副神経)	190
10. 第 XII 脳神経 (舌下神経)	191
11. 脳神経の連合性障害	192
a. 第 I, II 脳神経障害	192
b. Foster Kennedy 症候群	193
c. 上眼窩裂症候群	193
d. 眼窩尖症候群	193
e. 海綿静脈洞外壁症候群	193
f. 錐体蝶形骨十字路症候群 (Jacod 症候群)	193
g. Raeder 症候群 (傍三叉神経交感神経症候群)	193
h. Gradenigo 症候群 (側頭骨錐体尖端部症候群)	193

6 目 次

i. 内耳道症候群	193
j. 頸静脈孔症候群 (Vernet 症候群)	194
k. 頸静脈孔十字路症候群	194
l. Villaret 症候群	194
m. Garcin 症候群	194
n. Avellis 症候群	194
o. Schmidt 症候群	194
p. Jackson 症候群	194
D. 運動機能	後藤文男 195
1. 筋の大きさと形	195
2. 筋線維束攣縮	196
3. 筋トームス	196
4. 筋 力	197
5. 協調運動	214
a. 協調運動のテスト	214
b. 運動失調の鑑別	216
6. 不随意運動	216
a. 不随意運動観察の要点	216
b. 振 戦	217
c. 筋線維束攣縮	218
d. ミオキミー	218
e. ミオクロヌス	218
f. 舞 踏 病	219
g. バリスムス	219
h. アテトーゼ	219
i. ジストニー	219
j. spasm	220
k. チ ャ ッ ク	220
7. 歩行および起立	220
a. 起 立	220
b. 歩 行	220

E. 反 射	中西孝雄	223
1. 深部反射		223
a. 反射の機序		223
b. 検査上注意すべき事項		223
c. 反射の判定		224
d. 臨床的に検査される深部反射		225
e. 深部反射異常の原因		230
2. 表在反射		231
a. 粘膜反射		231
b. 皮膚反射		231
3. 病的反射		233
a. 単純な運動を呈する病的反射		233
b. 一肢が関係する病的反射		235
4. 姿勢反射		236
a. 頸反 射		236
b. Moro 反射		236
c. Landau 反射		236
5. 共同運動		236
6. 自律神経反射		237
F. 感覚 (知覚)	加藤 洋	239
1. 感覚の分類		239
a. 特殊感覚と一般感覚		239
b. 体性感覚と内臓性感覚		239
c. 表面感覚と深部感覚		239
d. Sherrington の分類		240
e. “小径線維性”感覚と“大径線維性”感覚		240
f. 前側索系感覚と後索系感覚		241
g. “皮質性”感覚と“視床性”感覚		241
h. 要素的感覚と複合感覚		243
i. protopathic sensation と epicritic sensation		243
j. “vitale Empfindung” と “gnostische Empfindung”		243

2. 感覚検査の一般的注意	243
3. 自発的感觉	244
4. 表面感觉の検査	245
a. 触 覚	246
b. 痛 覚	247
c. 温 度 覚	249
5. 深部感觉	250
a. 固有受容覚	250
b. 深部痛覚	252
c. 振 動 覚	252
6. 感觉神経支配	254
7. 識別性感觉機能	256
a. 重量識別	256
b. 二点識別能	257
c. 局 在 能	258
d. 筆 跡 覚	259
e. 手探り(触診)による形態, 材質および物品の認知・識別	259
f. 同時二重刺激法	261
G. 髄膜刺激症状の検査	後藤幾生 264
1. 項部硬直	264
2. 神経根刺激症状	265
a. Kernig 徴候	265
b. Lasègue 徴候	265
c. Spurling 試験	266
d. Bikeles 徴候	266
e. Brudzinski 頸徴候	266
f. Brudzinski 反対側肢徴候	267
g. Brudzinski 頰徴候	267
h. Brudzinski 恥骨結合徴候	267
i. Guillain 徴候	268
j. Edelman 母趾現象	268

H. 失行, 失認および失語	志田堅四郎	269
1. 検査の一般的な諸注意		269
2. 失行 (行為障害)		270
a. 定 義		270
b. 行為, 動作過程 (運動様式)		271
c. 臨床類型		272
3. 失認 (認知障害)		273
a. 定 義		273
b. 臨床類型		273
4. 言語障害		276
a. 発語機構とその障害		276
b. 失 語		277
索引		283